

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	インドの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、インドの株式（※）の中から、インド経済の発展に関連するインドの企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いません。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意しながら投資することを基本とします。</p> <p>イ. 主にインド経済の発展に必要な設備やエネルギー供給体制等の構築、整備、運営事業および人口増加や所得水準の向上に伴う消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中からボトムアップアプローチにより銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 時価総額や流動性等を勘案します。</p> <p>ハ. 個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、SBI Funds Management Private Limited の助言を受けます。</p> <p>④株式（※）の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。</p> <p>（※）株式…DR（預託証券）を含みます。</p>	
組入制限	ベビーファンドの マザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの 株式組入上限比率	無制限
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p>	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行いません。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

運用報告書（全体版） 第15期

（決算日 2015年6月16日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド」は、このたび、第15期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株式 組入 率	株式 先比 物率	純資産 総額
	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
11期末(2013年6月17日)	円 4,827	円 0	% △ 1.1	5,491	% 5.3	% 93.3	% 3.2	百万円 13,785
12期末(2013年12月16日)	4,793	0	△ 0.7	5,943	8.2	93.1	4.0	12,671
13期末(2014年6月16日)	6,351	0	32.5	7,353	23.7	92.4	3.8	16,168
14期末(2014年12月16日)	7,244	0	14.1	8,551	16.3	95.7	2.3	17,261
15期末(2015年6月16日)	7,184	0	△ 0.8	8,784	2.7	93.5	3.4	18,353

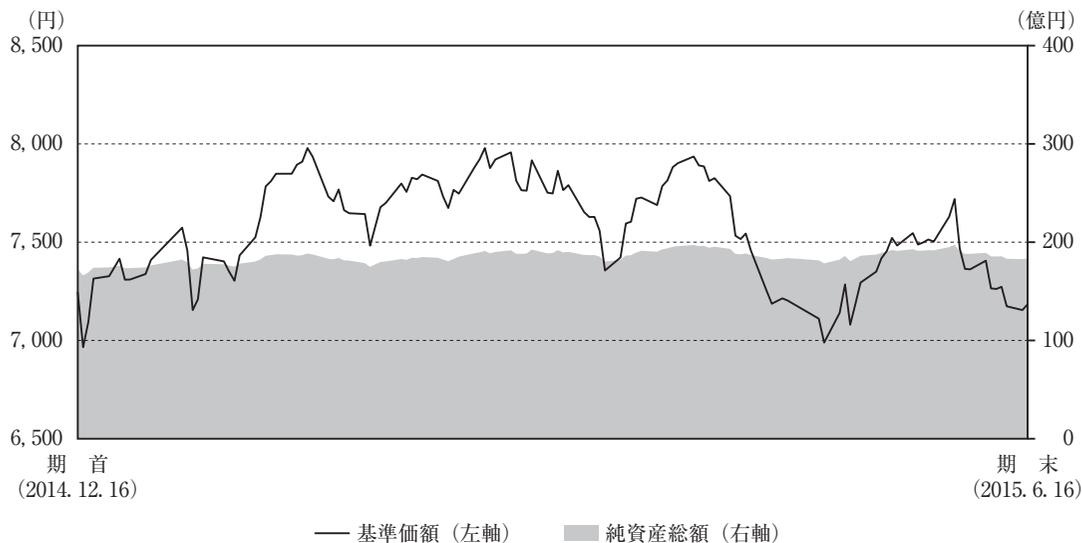
(注1) MSCIインド指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIインド指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注3) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注4) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		M S C I イ ン ド 指 数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	公 社 債 組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率			
(期首)2014年12月16日	7,244	—	8,551	—	95.7	2.3	—
12月末	7,410	2.3	8,747	2.3	96.1	2.3	—
2015年1月末	7,935	9.5	9,555	11.7	95.9	2.3	—
2月末	7,747	6.9	9,552	11.7	95.0	2.3	—
3月末	7,595	4.8	9,329	9.1	94.0	3.5	0.1
4月末	7,214	△ 0.4	8,722	2.0	94.6	3.4	—
5月末	7,503	3.6	9,140	6.9	94.9	3.4	—
(期末)2015年6月16日	7,184	△ 0.8	8,784	2.7	93.5	3.4	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：7,244円 期末：7,184円 騰落率：△0.8%

【基準価額の変動要因】

インドの企業の株式を高位に組入れた結果、円安インド・ルピー高はプラスに寄与しましたが、株式市況の下落や信託報酬等がマイナスとなり、基準価額は小幅に値下がりしました。

◆投資環境について

○インド株式市況

インド株式市況は、小幅下落となりました。

インド株式市況は、期首より、原油価格の急落やギリシャのユーロ離脱問題などを受け上値の重い展開となりましたが、2015年1月から4月中旬にかけては、RBI（インド準備銀行）が利下げを行ない金融緩和姿勢に転じたこと、政府がGDP（国内総生産）成長率の上方修正と加速見通しを発表したこと、格付会社がインドの格付け見通しを上げたことなどから、高値圏での推移となりました。しかし4月中旬以降は、2015年1～3月期決算が市場予想を下回る企業が多かったこと、外国人投資家に対する課税強化への懸念が高まったこと、モンスーン期の降雨量が例年を下回り食品価格が上昇する懸念とそれによる利下げ期待の後退、米国の利上げへの警戒感などから、期末にかけて下落基調となりました。

○為替相場

インド・ルピーは円に対して上昇しました。

期首から2015年3月中旬にかけての対円為替相場は、海外投資家からの資金流入や政府が成長重視の予算案を発表したことなどによりルピー高となりました。その後は、予想を下回る企業業績や外国人投資家に対する課税強化への懸念からルピーは下落基調となったものの、米国の利上げ観測の高まりを背景に円安米ドル高が大幅に進行したことなどから対円では上昇基調となり、高値圏で期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

○ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組入れてまいります。業種では、ディーゼル価格の自由化や天然ガス価格の引上げの恩恵が期待されるエネルギーセクター、インフラ投資拡大の恩恵が見込まれる素材セクターや資本財・サービスセクター、所得水準の向上や民間消費の拡大に伴い業種拡大が見込まれる一般消費財・サービスセクター、生活必需品セクター、金融セクターなどに注目していきます。

◆ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないました。

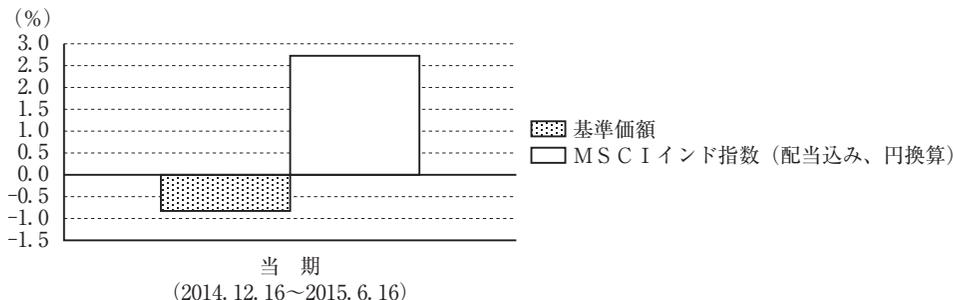
○ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

当ファンドでは、主にインフラ投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行ないました。業種では、所得水準の向上や民間消費の拡大に伴い業績拡大が見込まれる一般消費財・サービスセクター、今後のインフラ投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターなどの組入比率を上げました。個別銘柄では、景気回復に伴い不良債権の減少や堅調な貸出残高成長が見込まれる STATE BANK OF INDIA（金融）、景気回復や新商品の投入を原動力に販売台数の回復が見込まれる MAHINDRA & MAHINDRA LTD（一般消費財・サービス）、国内商用車市場の回復に加え中国など海外市場での販売増加が期待される TATA MOTORS LTD（一般消費財・サービス）などを買い付けました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



◆分配金について

当期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期
	2014年12月17日 ～2015年6月16日
当期分配金（税込み）（円）	—
対基準価額比率（％）	—
当期の収益（円）	—
当期の収益以外（円）	—
翌期繰越分配対象額（円）	230

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いません。

○ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インド経済の発展に必要なインフラ投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組入れてまいります。業種では、堅調な精製マージンが見込まれるエネルギーセクターに注目しています。また、都市部を中心に消費需要の拡大が継続すると予想されることから、一般消費財・サービスセクターにも注目しています。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2014.12.17~2015.6.16)		
	金 額	比 率	
信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	68円 (33) (33) (3)	0.905% (0.431) (0.431) (0.043)	信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は7,571円です。 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料 (株式) (先物)	14 (14) (0)	0.185 (0.180) (0.004)	売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (株式)	5 (5)	0.068 (0.068)	有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 / 期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用) (監査費用)	3 (3) (0)	0.045 (0.042) (0.003)	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	91	1.202	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2014年12月17日から2015年6月16日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ダイワ・インド株 アクティブ・ マザーファンド	千口 2,412,573	千円 2,070,000	千口 1,069,157	千円 911,000

(注) 単位未満は切捨て。

■ 利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■ 組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・インド株 アクティブ・マザーファンド	千口 21,212,851	千口 22,556,267	千円 18,320,200

(注) 単位未満は切捨て。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2014年12月17日から2015年6月16日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	11,365,848千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	17,620,128千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.64

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年6月16日現在

項目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	18,320,200	98.7
コール・ローン等、その他	234,471	1.3
投資信託財産総額	18,554,671	100.0

- (注1) 評価額の単位未満は切捨て。
 (注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=123.44円、1インド・ルピー=1.94円です。
 (注3) ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(18,198,087千円)の投資信託財産総額(18,571,753千円)に対する比率は、98.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年6月16日現在

項目	当 期 末
(A)資 産	18,554,671,574円
コール・ローン等	234,471,328
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド(評価額)	18,320,200,246
(B)負 債	201,217,964
未払解約金	33,452,170
未払信託報酬	167,268,062
その他未払費用	497,732
(C)純資産総額(A-B)	18,353,453,610
元 本	25,546,957,288
次期繰越損益金	△ 7,193,503,678
(D)受益権総口数	25,546,957,288口
1万口当り基準価額(C/D)	7,184円

- *期首における元本額は23,827,738,185円、当期中における追加設定元本額は4,292,201,376円、同解約元本額は2,572,982,273円です。
 *当期末の計算口数当りの純資産額は7,184円です。
 *当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は7,193,503,678円です。

■損益の状況

当期 自2014年12月17日 至2015年6月16日

項目	当 期
(A)配当等収益	41,781円
受 取 利 息	41,781
(B)有価証券売買損益	△ 140,124,535
売 買 益	47,174,415
売 買 損	△ 187,298,950
(C)信託報酬等	△ 167,765,794
(D)当期損益金(A+B+C)	△ 307,848,548
(E)前期繰越損益金	△ 1,265,569,384
(F)追加信託差損益金	△ 5,620,085,746
(配 当 等 相 当 額)	(206,874,101)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 5,826,959,847)
(G)合 計(D+E+F)	△ 7,193,503,678
次期繰越損益金(G)	△ 7,193,503,678
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 5,620,085,746
(配 当 等 相 当 額)	(206,874,101)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 5,826,959,847)
分 配 準 備 積 立 金	382,880,151
繰 越 損 益 金	△ 1,956,298,083

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
 (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
 (注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。
 (注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用:46,028,130円(未監査)

■収益分配金の計算過程(総額)

項目	当 期
(a)経費控除後の配当等収益	0円
(b)経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c)取 益 調 整 金	206,874,101
(d)分 配 準 備 積 立 金	382,880,151
(e)当期分配対象額(a+b+c+d)	589,754,252
(f)分 配 金	0
(g)翌期繰越分配対象額(e-f)	589,754,252
(h)受 益 権 総 口 数	25,546,957,288口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2014年12月16日の交付運用報告書および運用報告書(全体版)につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額(月末値の平均値)は6,784円です。」

【本資料は、受益者のみなさまにファンドの運用状況をお知らせするためのものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。】

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

運用報告書 第15期 (決算日 2015年6月16日)

(計算期間 2014年12月17日～2015年6月16日)

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの第15期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	インドの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。）
運用方法	<p>①主として、インドの株式（※）の中から、インド経済の発展に関連するインドの企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いません。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意しながら投資することを基本とします。</p> <p>イ. 主にインド経済の発展に必要な設備やエネルギー供給体制等の構築、整備、運営事業および人口増加や所得水準の向上に伴う消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中からボトムアップアプローチにより銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 時価総額や流動性等を勘案します。</p> <p>ハ. 個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、SBI Funds Management Private Limited の助言を受けます。</p> <p>④株式（※）の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。</p> <p>（※）株式…DR（預託証券）を含みます。</p>
株式組入制限	無制限

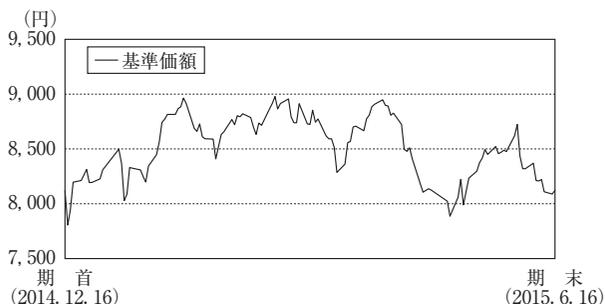
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準 価 額		MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株 組 比	株 先 入 率	株 先 式 物 率	公 組 債 人 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率				
(期首)2014年12月16日	8,117	—	8,557	—	%	%	%	%
12月末	8,309	2.4	8,754	2.3	96.2	2.3	—	—
2015年1月末	8,914	9.8	9,562	11.7	96.1	2.3	—	—
2月末	8,715	7.4	9,559	11.7	95.2	2.3	—	—
3月末	8,557	5.4	9,336	9.1	94.1	3.5	0.1	—
4月末	8,137	0.2	8,728	2.0	94.8	3.4	—	—
5月末	8,476	4.4	9,147	6.9	95.0	3.4	—	—
(期末)2015年6月16日	8,122	0.1	8,790	2.7	93.6	3.4	—	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCIインド指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIインド指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：8,117円 期末：8,122円 騰落率：0.1%

【基準価額の主な変動要因】

インドの企業の株式を高位に組入れた結果、株式市況の下落がマイナスとなりましたが、円安インド・ルピー高の影響がプラスに寄与し、基準価額は小幅に値上がりしました。

◆投資環境について

○インド株式市況

インド株式市況は、小幅下落となりました。

インド株式市況は、期首より、原油価格の急落やギリシャのユー

ロ離脱問題などを受け上値の重い展開となりましたが、2015年1月から4月中旬にかけては、RBI(インド準備銀行)が利下げを行ない金融緩和姿勢に転じたこと、政府がGDP(国内総生産)成長率の上方修正と加速見通しを発表したこと、格付会社がインドの格付け見直しを上げたことなどから、高値圏での推移となりました。しかし4月中旬以降は、2015年1-3月期決算が市場予想を下回る企業が多かったこと、外国人投資家に対する課税強化への懸念が高まったこと、モンスーン期の降雨量が例年を下回り食品価格が上昇する懸念とそれによる利下げ期待の後退、米国の利上げへの警戒感などから、期末にかけて下落基調となりました。

○為替相場

インド・ルピーは円に対して上昇しました。

期首から2015年3月中旬にかけての対円為替相場は、海外投資家からの資金流入や政府が成長重視の予算案を発表したことなどによりルピー高となりました。その後は、予想を下回る企業業績や外国人投資家に対する課税強化への懸念からルピーは下落基調となったものの、米国の利上げ観測の高まりを背景に円安米ドル高が大幅に進行したことなどから対円では上昇基調となり、高値圏で期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

主に、インド経済の発展に必要なインフラ(社会基盤)投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組入れてまいります。業種では、ディーゼル価格の自由化や天然ガス価格の引上げの恩恵が期待されるエネルギーセクター、インフラ投資拡大の恩恵が見込まれる素材セクターや資本財・サービスセクター、所得水準の向上や民間消費の拡大に伴い業績拡大が見込まれる一般消費財・サービスセクター、生活必需品セクター、金融セクターなどに注目していきます。

◆ポートフォリオについて

当ファンドでは、主にインフラ投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行ないました。業種では、所得水準の向上や民間消費の拡大に伴い業績拡大が見込まれる一般消費財・サービスセクター、今後のインフラ投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターなどの組入比率を上げました。個別銘柄では、景気回復に伴い不良債権の減少や堅調な貸出残高成長が見込まれるSTATE BANK OF INDIA(金融)、景気回復や新商品の投入を原動力に販売台数の回復が見込まれるMAHINDRA & MAHINDRA LTD(一般消費財・サービス)、国内商用車市場の回復に加え中国など海外市場での販売増加が期待されるTATA MOTORS LTD(一般消費財・サービス)などを買い付けました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数はインド市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

主に、インド経済の発展に必要なインフラ投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組入れてまいります。業種では、堅調な精製マーゲンが見込まれるエネルギーセクターに注目していきます。また、都市部を中心に消費需要の拡大が継続すると予想されることから、一般消費財・サービスセクターにも注目しています。

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (先物)	16円 (15) (0)
有価証券取引税 (株式)	6 (6)
その他費用 (保管費用)	4 (4)
合 計	25

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2014年12月17日から2015年6月16日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 1,408 (—)	千アメリカ・ドル 2,177 (—)	百株 2,307.17	千アメリカ・ドル 6,491
	インド	百株 108,399.54 (5,262.7)	千インド・ルピー 3,000,527 (9,406)	百株 66,720.56	千インド・ルピー 2,349,836

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

株 式

(2014年12月17日から2015年6月16日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	期 間		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
STATE BANK OF INDIA (インド)	千株 638.9	千円 365,274	円 571	RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A (インド)	千株 230.717	千円 770,179	円 3,338
MAHINDRA & MAHINDRA LTD (インド)	117.8	280,815	2,383	ITC LTD (インド)	651.9	423,997	650
RELIANCE INDUSTRIES LTD (インド)	176.8	279,379	1,580	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE (インド)	117	269,427	2,302
LARSEN & TOUBRO LTD (インド)	66.7	221,490	3,320	LARSEN & TOUBRO LTD (インド)	68.9	219,252	3,182
BAJAJ CORP LTD (インド)	259.665	219,858	846	NTPC LTD (インド)	792.96	213,224	268
ADLABS ENTERTAINMENT LTD (インド)	521.495	217,823	417	AIA ENGINEERING LTD (インド)	101.6	205,781	2,025
NATCO PHARMA LTD (インド)	69.008	211,579	3,066	HERO MOTOCORP LTD (インド)	40.6	190,651	4,695
EXIDE INDUSTRIES LTD (インド)	578.1	205,761	355	LUPIN LTD (インド)	51.9	174,115	3,354
TATA MOTORS LTD (インド)	189.4	205,684	1,085	OIL INDIA LTD (インド)	163.707	173,039	1,057
CESC LTD (インド)	179.142	197,543	1,102	SUN PHARMACEUTICAL INDUS (インド)	82.5	148,928	1,805

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 公 社 債

(2014年12月17日から2015年6月16日まで)

		買 付 額	売 付 額
外 国	イ ン ド 社 債 券	千インド・ルピー —	千インド・ルピー 7,777 (—)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の種類別取引状況

(2014年12月17日から2015年6月16日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額 百万円	決 済 額 百万円	新規売付額 百万円	決 済 額 百万円
外 国 株 式 先 物 取 引	3,439	3,185	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
ICICI BANK LTD-SPON ADR	4,570	5,627	5,435	670,980	金融	
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A	5,055.93	3,099.76	8,617	1,063,723	エネルギー	
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額	9,625.93	8,726.76	14,053	1,734,704	
	銘柄数 < 比率 >	2銘柄	2銘柄		<9.5% >	
(インド)	百株	百株	千インド・ルピー	千円		
ADLABS ENTERTAINMENT LTD	—	5,214.95	84,273	163,490	一般消費財・サービス	
SHARDA CROPICHEM LTD	—	926.48	26,015	50,470	素材	
TV18 BROADCAST LTD	—	14,911.02	51,517	99,944	一般消費財・サービス	
CYIENT LTD	—	29.75	1,597	3,098	情報技術	
NATIONAL BUILDINGS CONSTRUCT	—	632	47,804	92,740	資本財・サービス	
TATA STEEL LTD	2,534	2,534	75,259	146,004	素材	
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	311.5	380.5	143,349	278,098	一般消費財・サービス	
ACC LTD	880.06	564.06	77,290	149,943	素材	
TATA POWER CO LTD	8,458.01	—	—	—	公益事業	
OBEROI REALTY LTD	1,682.13	2,517.13	71,461	138,634	金融	
DLF LTD	935	—	—	—	金融	
ASIAN PAINTS LTD	2,221.02	2,211.02	154,450	299,634	素材	
HINDUSTAN PETROLEUM CORP	—	1,355	93,854	182,076	エネルギー	
STATE BANK OF INDIA	12,866	16,687	417,592	810,128	金融	
TATA COMMUNICATIONS LTD	—	1,572.08	64,840	125,790	電気通信サービス	
NTPC LTD	6,682.6	—	—	—	公益事業	
POWER FINANCE CORPORATION	1,087	1,087	28,430	55,155	金融	
UNITED SPIRITS LTD	324	264	94,921	184,147	生活必需品	
POWER GRID CORP OF INDIA LTD	6,661.52	6,800.52	96,023	186,285	公益事業	
VOLTAS LTD	5,921	5,793	191,574	371,654	資本財・サービス	
CESC LTD	—	1,791.42	94,622	183,568	公益事業	
TITAN CO LTD	1,911.22	1,104.22	38,012	73,744	一般消費財・サービス	
BHARAT PETROLEUM CORP LTD	1,389.58	1,466.58	122,239	237,144	エネルギー	
IDEA CELLULAR LTD	3,278	5,359	94,077	182,509	電気通信サービス	
NATIONAL ALUMINIUM CO LTD	—	9,381	38,649	74,980	素材	
PUNJAB NATIONAL BANK	948.66	—	—	—	金融	
EXIDE INDUSTRIES LTD	—	5,781	83,622	162,227	一般消費財・サービス	
MARICO LTD	3,019.32	3,019.32	125,769	243,993	生活必需品	
CANARA BANK	1,408	2,326	68,175	132,259	金融	
CROMPTON GREAVES LTD	2,383	—	—	—	資本財・サービス	
IRB INFRASTRUCTURE DEVELOPER	2,770	—	—	—	資本財・サービス	
ADANI PORTS AND SPECIAL ECON	4,984.56	6,332.56	196,341	380,901	資本財・サービス	
UNION BANK OF INDIA	2,594	5,817	83,648	162,278	金融	
OIL INDIA LTD	1,637.07	—	—	—	エネルギー	
ALLAHABAD BANK	4,614	8,925	80,325	155,830	金融	
ALSTOM INDIA LTD	—	1,226.86	88,064	170,844	資本財・サービス	
AUROBINDO PHARMA LTD	1,160	607	77,501	150,353	ヘルスケア	
LUPIN LTD	676	265	45,364	88,006	ヘルスケア	
MOTHERSON SUMI SYSTEMS LTD	6,762.39	5,435.39	261,252	506,828	一般消費財・サービス	
ORIENTAL BANK OF COMMERCE	1,878	4,214	72,101	139,876	金融	
SHRIRAM TRANSPORT FINANCE	1,722	1,632	134,028	260,014	金融	

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千インド・ルピー	千円		
TECH MAHINDRA LTD	210	840	46,540	90,287	情報技術	
AIA ENGINEERING LTD	1,016	—	—	—	資本財・サービス	
SOBHA LTD	1,241	—	—	—	金融	
EMAMI LTD	—	376.79	39,216	76,079	生活必需品	
TORRENT PHARMACEUTICALS LTD	1,022.01	1,022.01	130,709	253,577	ヘルスケア	
RURAL ELECTRIFICATION CORP	1,365.53	1,365.53	37,197	72,162	金融	
COX AND KINGS LTD	1,775.83	1,775.83	46,642	90,485	一般消費財・サービス	
SADBHAV ENGINEERING LTD	1,016.23	3,710.77	103,660	201,101	資本財・サービス	
ATUL LTD	140.58	—	—	—	素材	
COAL INDIA LTD	2,100	2,100	82,803	160,637	エネルギー	
TREE HOUSE EDUCATION AND ACC	—	1,800	69,876	135,559	一般消費財・サービス	
BAJAJ CORP LTD	—	2,596.65	105,268	204,220	生活必需品	
NATCO PHARMA LTD	—	540.08	109,071	211,599	ヘルスケア	
KARUR VYSYA BANK LTD	1,459.11	1,718.75	77,283	149,930	金融	
PRESTIGE ESTATES PROJECTS	2,215.14	2,156.42	54,697	106,113	金融	
BAJAJ ELECTRICALS LTD	—	2,193.16	64,588	125,301	一般消費財・サービス	
BHARTI INFRATEL LTD	855	1,408	64,071	124,297	電気通信サービス	
NMDC LTD	2,871.47	—	—	—	素材	
MINDTREE LTD	447	363	47,790	92,714	情報技術	
SREI INFRASTRUCTURE FINANCE	—	5,287	17,314	33,590	金融	
VA TECH WABAG LTD	631.08	830.92	58,114	112,742	公益事業	
STRIDES ARCOLAB LTD	—	759.04	85,020	164,938	ヘルスケア	
GAIL INDIA LTD	—	1,105	43,879	85,126	公益事業	
HINDALCO INDUSTRIES LTD	9,605	9,605	109,785	212,983	素材	
INFOSYS LTD	198	—	—	—	情報技術	
LARSEN & TOUBRO LTD	2,556	2,534	422,772	820,178	資本財・サービス	
TATA MOTORS LTD	5,796	7,329.77	312,504	606,259	一般消費財・サービス	
RELIANCE COMMUNICATIONS LTD	—	6,438	37,887	73,502	電気通信サービス	
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	7,543	7,008	851,156	1,651,243	金融	
RELIANCE INDUSTRIES LTD	649	2,417	217,952	422,828	エネルギー	
OIL & NATURAL GAS CORP LTD	5,336	4,554	138,418	268,532	エネルギー	
ITC LTD	16,121	10,822	323,036	626,691	生活必需品	
MAHINDRA & MAHINDRA LTD	1,484	2,662	324,843	630,197	一般消費財・サービス	
HERO MOTOCORP LTD	674.51	403.51	101,121	196,175	一般消費財・サービス	
BHARTI AIRTEL LTD	4,083	4,019	166,245	322,517	電気通信サービス	
SUN PHARMACEUTICAL INDUS	—	767.6	64,301	124,745	ヘルスケア	
DABUR INDIA LTD	3,981.03	1,884.15	48,290	93,684	生活必需品	
HCL TECHNOLOGIES LTD	244	—	—	—	情報技術	
RANBAXY LABORATORIES LTD	1,927	—	—	—	ヘルスケア	
VEDANTA LTD	8,826	7,475	135,559	262,984	素材	
インド・ルピー通貨計	株数、金額	181,089.16	228,030.84	7,961,675	15,445,650	
	銘柄数 < 比率 >	60銘柄	67銘柄		< 84.2% >	
ファンド合計	株数、金額	190,715.09	236,757.6	—	17,180,354	
	銘柄数 < 比率 >	62銘柄	69銘柄		< 93.6% >	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘柄別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
外国 SGX CNX NIFTY ETS (シンガポール)	百万円 622	百万円 —

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値を投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年6月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 17,180,354	% 92.5
コール・ローン等、その他	1,391,398	7.5
投資信託財産総額	18,571,753	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝123.44円、1インド・ルピー＝1.94円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（18,198,087千円）の投資信託財産総額（18,571,753千円）に対する比率は、98.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年6月16日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	18,571,753,194円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,163,175,015
株 式 (評価額)	17,180,354,275
未 収 入 金	19,570,668
未 収 配 当 金	57,625,938
差 入 委 託 証 拠 金	151,027,298
(B)負 債	225,509,613
未 払 金	225,509,613
(C)純 資 産 総 額 (A-B)	18,346,243,581
元 本	22,589,365,805
次 期 繰 越 損 益 金	△ 4,243,122,224
(D)受 益 権 総 口 数	22,589,365,805口
1万口当り基準価額 (C/D)	8,122円

*期首における元本額は21,250,346,482円、当期中における追加設定元本額は2,416,323,007円、同解約元本額は1,077,303,684円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド (FOPs用) (適格機関投資家専用) 33,098,572円、ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド22,556,267,233円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は8,122円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,243,122,224円です。

■損益の状況

当期 自2014年12月17日 至2015年6月16日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	98,595,832円
受 取 配 当 金	98,484,261
受 取 利 息	111,571
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 91,177,854
売 買 益	1,717,683,877
売 買 損	△ 1,808,861,731
(C)先 物 取 引 等 損 益	△ 57,686,536
取 引 益	27,101,869
取 引 損	△ 84,788,405
(D)そ の 他 費 用	△ 7,830,740
(E)当 期 損 益 金 (A+B+C+D)	△ 58,099,298
(F)前 期 繰 越 損 益 金	△ 4,001,223,603
(G)解 約 差 損 益 金	159,483,684
(H)追 加 信 託 差 損 益 金	△ 343,283,007
(I)合 計 (E+F+G+H)	△ 4,243,122,224
次 期 繰 越 損 益 金 (I)	△ 4,243,122,224

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。